

NOTICIAS DE S. PAULO

(Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil)

(1) No. 1986

3a Feira, 29 de Agosto de 1930

廿八日午前九時五十分 突如平沼内閣總辭職

辞職理由は獨ソ不可侵條約

(東京廿八日同盟) 平沼首相は廿八日午前九時十分首官邸に緊急開闢召集、全閣僚に對し總辭職の決意を表明一同これを承認したので直ちに全閣僚の辭職を取まとて午前九時五十分官中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ總辭職の事情を詳さに奏上。陛下に懺悔を乞ひ奉つた。

(東京廿八日同盟) 平沼首相は廿八日午前十時五十分總辭職の理由に關し左の聲明を發表した。

不肖義に大命を挙げ内閣弼弼の重任に當り以來日夜忠旨を奉獻して閣僚と協力し、一意專心艱難を克服して東亞の新秩序を建設し以て聖戰の目的達成に邁進して參つたのであります。而して外交は建國の光榮に則り道義を基礎として世界の平和と文化とに寄與するを第一義とこの方針下に義政政策を考慮し、累次之を厥下に奏し來つたのであります。然るに今回締結せられたる獨ソ不可侵條約により歐洲の天地は複雜怪奇なる新情勢を生じたので我方はこれに驚き從來準備し來つた政策はこれを打ちきり更に別途の政策樹立が必要とするに至りました。それは明らかに不肖が累次奏聞したところを變更し、再び聖慮をわらはし奉ることになりましたので補弼の責重に恐れがござります。はなに顧み、誠に恐懼にへません。臣子等は確定的とみられる局を突破せんとするに到つては局面を轉換し人心を一新するを以て刻下的の急務を信ずるもので、以上の理由により蹶下に服し謹んで懺悔を乞ひ奉つたのであります。

後繼内閣は

阿部信行大將

(東京二十八日同盟) 軍事部側

を引いた、斯くて世界を吹きまくる嵐の中に阿部信行内閣が突如として生れ出ることとなりました。

陸相・多田中將内定

阿部信行大將

(東京二十八日同盟) 軍事部側

人事局長は、空路〇〇に越す、交渉を行つたが多田中將の受諾は確定的とみられる。

軍部側の見解

阿部信行大將

(東京二十八日同盟) 軍事部側

の後継内閣に對する態度如何は各方面より重視されれる。

が、陸軍は内閣に對し大要

即ち、急テンポを以て伸展する

内外情勢に對し帝國は

具現し、内外の諸策を

強く要望するものを見られる

即ち、急テンポを以て伸展する

歐洲戰火か？和平か？

英の對外取引制限の如何

獨乙、戰時準備して待機

(ロンドン二十七日同盟) 欧洲和戰の鍵を握るイギリス政府の對外取引を制限するに至った。後三時過ぎ首相官邸で、チエシャーレン首相を中心、協議を續けること一時間半に及び、午後四時に至り閉会。要決議をなした模様である。

英國對外取引制限

(ロンドン二十七日同盟) 英社長には現全國漁業組合が主張する如きの如きの實行、空路ロンドンに急行したヘンダーソン大使は、東大會見を予定だが、その結果は勿右會見を持つて決定すべき情勢となり、これが寫二十六日に予定されたドイツ國會の召集ヒットラー總統の放送演説及び二十六日夜の陸軍總司令ブランケット將軍の演説は何れも中止と決定した。但しイギリスの回答如何ではドイツは直ちに實力發動の方針で着々準備を進めて居り、時局は何等改善を見るに至らぬ。

(ロンドン二十七日同盟) 欧洲和戰の鍵を握るイギリス政府の對外取引を制限するに至つた。後三時過ぎ首相官邸で、チエシャーレン首相を中心、協議を續けること一時間半に及び、午後四時に至り閉会。要決議をなした模様である。

